

## 2017年セミナー開催

開催日	演者	演題	世話人
2017. 3/6	角田 佳充 教授 (九州大学大学院 農学研究院)	硫酸転移酵素の構造生物学	津下英明
2017. 6/5	Dr. Ramanujan S. Hegde (MRC Laboratory of Molecular Biology)	Mechanisms of protein quality control in the cytosol	遠藤斗志也
2017. 6/5	Dr. Peter Walter (University of California、本 学タンパク質動態研究所 招 聘教授)	From Protein Folding to Cognition : a Serendipitous Path of Discovery	永田和宏
2017. 6/7	佐藤 久夫氏 (京都産業大学 日本科学未 来館 遠藤プロジェクト)	-橋円な社会とサイエンス- 焦点は二つ！	遠藤斗志也
2017. 9/1	Prof. Klaus Aktories (University of Freiburg)	Targeting of the Cytoskeleton by Bacterial Protein Toxins	津下英明
2017. 9/4	Dr. William E. Balch (The Scripps Research Institute)	Understanding Genetic Variation in the Complex Landscapes of Protein Misfolding and Trafficking Disease	永田和宏
2017. 9/4	Dr. Sandra Schmid (UT Southwestern Medical Center)	Adaptive clathrin-mediated endocytosis and signaling in cancer cells	永田和宏
2017. 9/12	岩淵-土井 真木子 博士 (University of Pennsylvania)	細胞運命を司るパイオニア転写因子FoxAのク ロマチン制御機構	近藤寿人
2017. 9/12	竹本 龍也 教授 (徳島大学先端酵素学研究 所)	神経板と体節中胚葉を産み出す体軸幹細胞の 制御	近藤寿人
2017. 12/11	井澤 俊明 博士 (ドイツ ミュンヘン大学)	The mitoRQC pathway～新生ミトコンドリアタン パク質の品質管理機構～	遠藤斗志也



Hegde 博士 (左) と Walter 博士 (右) のセミナーの様子

## 2017年 プレスリリース

日本人初の快挙！京都産業大学タンパク質動態研究所 永田和宏所長が The Protein Society “Hans Neurath Award”を受賞		
4月28日	新聞	読売新聞 朝刊
9月3日	新聞	朝日新聞 朝刊
9月9日	新聞	朝日新聞 朝刊(淡路版)

細胞内の不良品たんぱく質の分解メカニズムを解明 ～アルツハイマー病など神経性疾患の成因解明が可能に～ (永田和宏ら)		
5月5日	Web	日経速報アーカイブ
5月10日	Web	医療NEWS

多能性幹細胞について、転写因子ZIC2を中心とした、定説を覆す新しい制御機構を発見 ～iPS細胞をはじめとした多能性幹細胞の研究の新展開を期待～ (近藤寿人ら)		
5月31日	新聞	京都新聞、産経新聞
5月31日	Web	共同ニュース、AFPBBニュース、Dmenu ニュース、goo ニュース、Yahoo ニュース、朝日新聞、毎日新聞(Web)、SankeiBizほか

ミトコンドリアと小胞体間のコンタクト部位ERMES複合体におけるMdm12の立体構造および脂質配 送メカニズムの解明 (遠藤斗志也ら)		
12月30日	新聞	京都新聞 朝刊

## 2017年 トピック

8月19日	「ひらめき☆ときめきサイエンス～ようこそ大学の研究室へ～KAKENHI」 “生命活動の担い手「タンパク質」の世界”を開催(千葉志信)	
11月9日	文部科学省「私立大学研究ブランディング事業」に タンパク質動態研究所の事業が採択	